



和歌山県立医科大学 医学部  
教養・医学教育大講座 主催

2015年

# 夏の公開講座

8月8日(土)

- ◇ サリドマイドの今
- ◇ 生物の歴史
- ◇ ニュートリノの不思議

8月9日(日)

- ◇ 遺伝子操作の光と影
- ◇ 罰の効果と大きな副作用
- ◇ 日常に潜む確率の話

\*予備知識不要のやさしい内容です。

興味のあるテーマだけでも、気軽に受講していただけます。

会場： 和歌山県立医科大学 紀三井寺キャンパス 図書館棟3階  
生涯研修センター 研修室

対象： 一般（高校生以上） 中学生以下の方の入場はご遠慮願います。

受講料： 無料

申込： 不要（当日直接会場にお越しください）

問合せ先： 和歌山県立医科大学 総務課 TEL 073-441-0710  
FAX 073-441-0713

和歌山県立医科大学ホームページ「イベント情報」の「夏の公開講座」をご覧ください。  
お車でお越しの方は、和歌山県立医科大学附属病院駐車場（有料）をご利用ください。  
気象警報が発令されている場合、当日の講演は中止とさせていただきます。

8月8日(土)

10:30～ サリドマイドの今

医療社会科学教室 本郷正武

かつて奇形児を産む原因となり、製造販売停止になった市販薬「サリドマイド」が、再び使用可能になっていることはご存知でしょうか。「薬害」問題を引き起こしたサリドマイドが、なぜ再承認されるに至ったのかを紹介します。

13:00～ 生物の歴史

～生命の活動は地球をどのように変えたのか

生物学教室 山崎 尚

約40億年前、生命が誕生した当時の地球環境は今とは全く異なりましたが、生命活動は徐々に環境を変え、環境の変化が生物を次の段階に導きました。今回は、「生物の歴史」から3つの出来事を取り上げ、地球環境との関係を紹介합니다。

14:50～ ニュートリノの不思議

物理学教室 牧野誠司

ニュートリノの質量は、長い間ゼロと考えられていましたが、近年、ゼロでないことがわかってきました。そのことの宇宙に対する影響を含めて、ニュートリノの不思議な性質について、ニュートリノ研究の歴史を辿りながら解説します。

8月9日(日)

10:30～ 遺伝子操作の光と影

生物学教室 平井秀一

遺伝子操作技術とはどういうものかについてお話しするとともに、その進歩により人類が受ける恩恵と考慮すべき問題点とは何かについて、食品、医療に関するものを中心に考えます。

13:00～ 罰の効果と大きな副作用

心理学教室 石井 拓

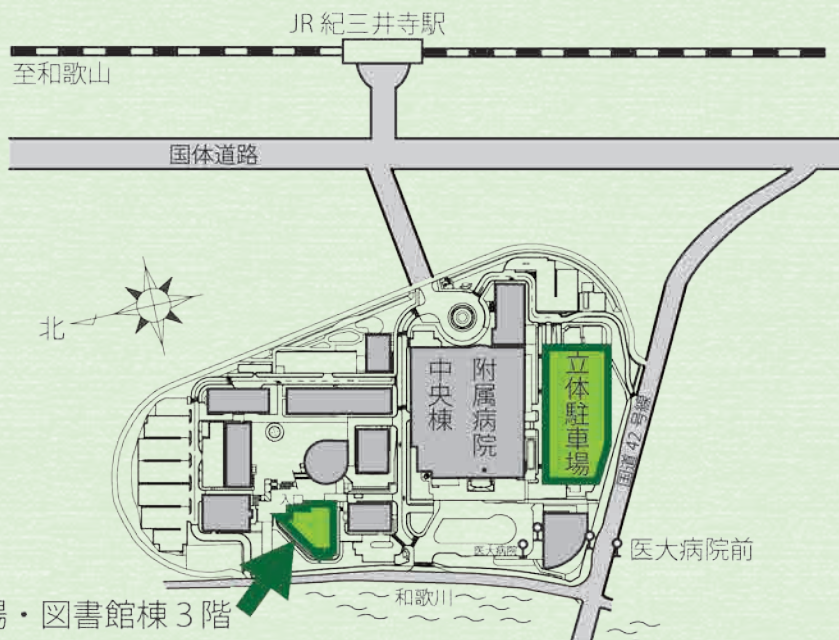
教育現場での体罰が問題となったり、それでも体罰は必要だと主張する人がいたり、罰の使用には賛否両論あるようです。そもそも、罰の効果や副作用は科学的にどのように認められるでしょうか。学習心理学の立場から考えてみましょう。

14:50～ 日常に潜む確率の話

数学・統計学教室 田中晴喜

クラスに同じ誕生日の人がいる確率、また自動販売機の当たりが出る確率など、確率を知るとしばしば意外な発見もあります。身近で気になる確率の話題を数学の考え方とともに紹介します。

## 会場案内



公開講座の情報は  
ウェブページでも  
ご覧いただけます